



生物多様性 自治体ネットワーク

生物多様性自治体ネットワーク
ロゴマーク仕様等

1 ログマークのコンセプト

2010年10月、愛知県名古屋市で開催された生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)で、2011年以降の新たな世界目標である『愛知目標』が採択されました。この目標の達成に貢献するため、2011年から2020年までの10年間は、国際社会のあらゆるセクターが連携して生物多様性の保全と持続可能な利用に向けて取り組む『国連生物多様性の10年』とされました。

我が国では、経済界、NGO/ユース、学术界、自治体、メディアなど様々なセクターが参画する『国連生物多様性の10年日本委員会』が設立され、日本社会における生物多様性の主流化に向けた活動が開始されています。

生物多様性自治体ネットワークは、国連生物多様性の10年日本委員会の構成員として、他のセクターとの連携・協働を図り、もって2010年のCOP10で採択された愛知目標の実現に資することを目的とし、設立されました。

生物多様性自治体ネットワークのログマークは、生物多様性を表現する5色を配色した「生物多様性自治体ネットワーク」の文字を、国連生物多様性の10年日本委員会のログマークの横に配置しています。国連生物多様性の10年日本委員会の一員である事を示すと共に、人と生きものをつなぐを維持、回復させ、自然と共生する世界の実現を目指すために、自治体が果たす役割の重要性を認識し取り組んでいく思いを表現しています。



生物多様性 自治体ネットワーク

2 ログマークの仕様について

※本仕様に記載されていない内容については、「国連生物多様性の10年日本委員会ロゴマーク使用等」に準じてください。

(1) ログマークのフォント・表示色について

ログマークに使用するフォント及び表示色は、下記指定のとおり使用してください。



フォント(生物多様性自治体ネットワーク):小塚ゴシックPro

表示色:①「生」プロセス:C8+M97.1+Y100
②「物」プロセス:C72.3+Y100
③「多」プロセス:C72.8+M48.7
④「様」プロセス:C40.6+M85.7
⑤「性」プロセス:C17.5+M53+Y89.6

(2) 保護エリアについて

ログマークには保護エリアを設定しています。下記の例以外の方法で使用する場合にも、下記の例を参考に、必要な保護エリアを必ず確保してください。

(色の濃い背景に表示する場合は周囲にゆったりとした白マドを設けてください)

(ログマークの視認性を損なわない程度の濃い背景であれば、白マドなしで表示できます)



(3) 最小使用サイズについて

ロゴマークの最小使用サイズは、国連生物多様性の10年日本委員会のロゴマーク部分の直径が18mmとします。



3 ネットワーク関連事業での使用について

生物多様性自治体ネットワークの構成自治体を使用する場合や、本ネットワークの認定や後援を受けた事業等に使用する場合は、ロゴマークの近くに「後援」等の文字を表示してください。

(表示例)

